

年

令和6年度 学校関係者（教職員自己評価）

令和6年3月14日

(学) 基督心宗学園 服部みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

- 強い心、あきらめない心を育てる
- 感情を刺激し、豊かにする
- 基礎体力をつけ、体幹を鍛える

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『こどもの育ちへの理解と工夫』

- ① 安全に生活し、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ姿勢を育てる
- ② 子どもが遊びたくなるような環境の工夫をする
- ③ 幼児の発達について学び、共通理解する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況（ABCで評価する）

A…達成できた B…おおむね達成できた C…達成できなかった

【①安全に生活し、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ姿勢を育てる】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	専門講師より体操・音楽・英語の指導を受ける	A	体操：なわとび、おにごっこ 英語：今までの総まとめ
2	園庭やチャペルでいろいろな体の動きを経験する	A	園庭：鬼ごっこ、ボール、準備体操、うんてい、鉄棒 チャペル：劇、リトミック、ゲーム
3	避難訓練を毎月実施し、非常事態時に備える	A	場所、時間未定でおこなった
4	園内での約束を守り、安全に過ごす	B	テラス、部屋は歩くと伝える
5	感染症予防対策を行い、習慣づける	A	手洗いや水分補給することを意識する ハンカチを持っておくように声をかける

【①来年度に向けての改善点】

- 1：体操の回数（なわとび）を増やしてほしい。運動会の時期はもう少し少なくとも良いかもしれない
- 4：子どもと一緒になぜ走ったらダメなのかを考える

【②遊びたくなるような環境や教材の工夫をする】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	身近な自然に触れて遊ぶ場所と時間を確保する	B	園庭の植物に水やりをする 絵本や図鑑で季節の植物を調べる
2	遊びを継続できるよう遊びの場を準備したり、再構成したりする	A	みんなで協力したものを置ける場所を作った 塗り絵の途中のものを置いておいて続きから塗れるようにした
3	いろいろな教材研究を行う	B	廃材遊びを行った 自画像制作で肌の色を何色か作っておき自分で選べるようにした
4	SDGSを意識した活動を取り入れ、興味や関心から遊びにつなげる。	B	廃材遊びで使えるかどうかの判断をするように行った いらなくなった折り紙を再利用していた

【②来年度に向けての改善点】

- 1：冬ならではの自然（氷づくり等）を楽しむ
- 3、4：廃材遊びを保育者も使い方などを考えて保育に取り入れたかった

【③幼児の発達について学び、共通理解する】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	園内研修を毎週金曜日に行い、学びを共有する	B	園内研修を行い、保育に取り入れる。
2	保育の振り返りを学年ごとに毎日行ない、幼児理解を深める	A	子どもの様子や保育の内容を振り返り、生かせるようにした。
3	園長・副園長・主幹と共に学年振り返りを行い、学年での共通幼児理解を深める。	A	他クラスの子どもにも目を向け、保育をする。 お互いの悩みを相談し合うことで、保育の引き出しが広がる。
4	実践を通して教育課程、年間カリキュラムのつながりを理解し、改善点を話し合う	C	行事などで手いっぱいであることができなかった

【③来年度に向けての改善点】

- 1：同期がおらず、横会議ができない場合もある。学年で気持ちを伝えられるのでなくても問題ない。
- 4：年カリと子供の成長のつながりを意識し、実践する

1. 本園の教育目標

- 強い心、あきらめない心を育てる
- 感情を刺激し、豊かにする
- 基礎体力をつけ、体幹を鍛える

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『こどもの育ちへの理解と工夫』

- ① 安全に生活し、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ姿勢を育てる
- ② 子どもが遊びたくなるような環境の工夫をする
- ③ 幼児の発達について学び、共通理解する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況（ABCで評価する）

A…達成できた B…おおむね達成できた C…達成できなかった

【①安全に生活し、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ姿勢を育てる】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	専門講師より体操・音楽・英語の指導を受ける	A	体操：縄跳び・ランニング 音楽：歌・手遊び・ピアノ 英語：歌・天気について・動物について お風呂について
2	園庭やチャペルでいろいろな体の動きを経験する	A	園庭：おにごっこ・だるまさんがころんだ・中当て チャペル：玉入れ・台風の目・非運びリレー・劇
3	避難訓練を毎月実施し、非常事態時に備える	A	地震・火災避難訓練を実施。
4	園内での約束を守り、安全に過ごす	A	階段の手すりを持ったり、走らないようにその都度声掛けをする
5	感染症予防対策を行い、習慣づける	A	換気・手洗いの呼びかけ・ハンカチで手を拭くなどの声掛けを行う

【①来年度に向けての改善点】

4：一部の定着していない子どもに対して来年度も声掛けしていく必要がある。

【②遊びたくなるような環境や教材の工夫をする】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	身近な自然に触れて遊ぶ場所と時間を確保する	B	雪が降った時に短時間だが外に出て寒さや服に着く雪の結晶を探した。
2	遊びを継続できるよう遊びの場を準備したり、再構成したりする	A	廃材遊びの続きや完成を棚の上に飾る 続きの塗り絵やワミーを洗濯ばさみで挟んで保管する。 ホッケーや穴の開いたダンボール、坂道、こまの競技場など次の日も遊べるように保管していた。
3	いろいろな教材研究を行う	A	教材を参考にしながらゲームを行った。 遊びを展開していけるように、作ったものを使ってゲーム性を持たせた。
4	SDGSを意識した活動を取り入れ、興味や関心から遊びにつなげる。	B	画用紙や折り紙など無駄遣いをせず再利用する テープではなく紙と紙はのりでくっつけるなど子どもたちと考えた 砂場での水を使う量を考えながら遊ぶ 廃材の入れる箱にリサイクルマークを貼って分け入れていた。

【②来年度に向けての改善点】

- 1: 氷や冬の植物など散歩に行き秋と様子が違うことを見に行っても良かった。
4: ただ廃材遊びをするだけではなく、ゴミではなく大切な素材になるという意識が持てる声掛けをしても良かった。

【③幼児の発達について学び、共通理解する】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	園内研修・横会議を定期的に行い、学びを共有する	A	研修に行った職員の研修内容を共有する
2	保育の振り返りを学年ごとに毎日行ない、幼児理解を深める	A	その都度起きたことを学年で共有した 起きたことへの解決策を学年で考えた 園長や副園長、主幹などに相談しながら理解を深め、子どもへの対応を考えた。
3	園長または副園長・主幹と共に学年振り返りを行い、学年での共通幼児理解を深める。	A	月1回振り返りシートを元に振り返りながらクラスの出来事など伝え合い、幼児理解を深めた。
4	実践を通して教育課程、年間カリキュラムのつながりを理解し、改善点を話し合う	A	毎日目に入るところに掲示し、週案や月案の作成の基盤にした。

【③来年度に向けての改善点】

園長・副園長、主幹に情報共有するとともに、事例と援助と結果をセットにして他の職員にも共有できる場があるとさらに良いと思う。

1. 本園の教育目標

- 強い心、あきらめない心を育てる
- 感情を刺激し、豊かにする
- 基礎体力をつけ、体幹を鍛える

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

『こどもの育ちへの理解と工夫』

- ① 安全に生活し、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ姿勢を育てる
- ② 子どもが遊びたくなるような環境の工夫をする
- ③ 幼児の発達について学び、共通理解する

3. 評価項目の達成及び取り組み状況（ABCで評価する）

A…達成できた B…おおむね達成できた C…達成できなかった

【①安全に生活し、自ら体を動かして遊ぶことを楽しむ姿勢を育てる】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	専門講師より体操・音楽・英語の指導を受ける	A	・ドッチボール ・ピアノ ・日常会話の英語
2	園庭やチャペルでいろいろな体の動きを経験する	B	・チャペルに行き、劇の役になりきり表現遊びを楽しむ
3	避難訓練を毎月実施し、非常事態時に備える	A	・毎月実施し非常事態に備えることが出来た
4	園内での約束を守り、安全に過ごす	A	・約束を確認しながら怪我無く安全に遊ぶことが出来た
5	感染症予防対策を行い、習慣づける	A	・手洗いうがいを習慣づけ感染症予防対策を行った

【①来年度に向けての改善点】

2→チャペルでサーキット遊びをし、より様々な動きを経験する

【②遊びたくなるような環境や教材の工夫をする】

	評価項目	評価	取り組み内容

1	身近な自然に触れて遊ぶ場所と時間を確保する	C	・毎日園庭に出て遊ぶ
2	遊びを継続できるように遊びの場を準備したり、再構成したりする	B	・遊びを継続できるように作った玩具の置き場を作った。
3	いろいろな教材研究を行う	B	・保育者で話し合い、教材研究を行った
4	SDGSを意識した活動を取り入れ、興味や関心から遊びにつなげる。	A	・SDGsクイズ ・ゴミ拾い活動 ・きれいな街の絵を描く

【②来年度に向けての改善点】

- 1→緑地公園や松林に行ってより色々な場所で遊ぶ
- 2→子どもの興味や様子を見ながら遊びを継続できる環境を作る
- 3→保育者自身が様々な教材に興味を持つ

【③幼児の発達について学び、共通理解する】

	評価項目	評価	取り組み内容
1	園内研修を毎週金曜日に行い、学びを共有する	A	・毎週金曜日ではないが園内研修を定期的に行った
2	保育の振り返りを学年ごとに毎日行ない、幼児理解を深める	A	・毎日保育後に保育者同士でクラス子どもたちについて話し合い、学年で子どもの共通理解を深めた
3	園長・副園長・主幹と共に学年振り返りを行い、学年での共通幼児理解を深める。	A	・定期的に学年振り返りを行った。各クラスの取り組みや学年の子ども姿を話し合い共通幼児理解を深めた
4	実践を通して教育課程、年間カリキュラムのつながりを理解し、改善点を話し合う	B	・年間カリキュラムを職員室の見やすい場所に貼り、毎月確認した

【③来年度に向けての改善点】

- 4→改善点を話し合う